

# 水野広徳 81 回忌イベント

ラジオ公開放送～戦後 80 年 水野広徳から何を学ぶのか～



「世にこびず、人におもねらず、  
我はわが正しと思う道を歩まん」

松山市三津出身の言論人・水野広徳(1875～1945)は、明治 37 年、海軍将校として日露戦争に従軍し、その戦記『此一戦』がベストセラーとなりました。ところが、第一次世界大戦後に欧州の惨状を視察したことを契機に、一転して非戦・軍縮を強く主張するようになります。大正 10 年には軍部の反発を受けて退役を余儀なくされますが、その後も発禁処分を恐れず、率直で明快な筆致を貫きました。

特に、日本の仮想敵国をアメリカとする新国防方針に異を唱え、日米開戦となれば「東京は一夜にして焼け野原になる」と予見した先見性は、歴史によって裏付けられました。豊富な軍事知識と戦地の実体験をもとに展開したその平和論・軍縮論は、論理の明快さ、分析の鋭さ、思索の深さにおいて、政治・軍事・外交・思想など近代史の諸分野に大きな足跡を残しています。

水野のこうした思想的転換とその歴史的意義を、資料に基づいて丹念に分析した小池聖一教授の研究を通じて、現代に生きる私たちが戦争と平和についてともに考える機会にしたいと思います。

【日 時】 2025 年 10 月 4 日(土) 12:00～13:00

【場 所】 坂の上の雲ミュージアム特設ブース  
(松山市一番町 3-20)

【観 覧】 無 料 \*ミュージアム展示スペースは有料となります

ラジオ番組『坂の上のラジオ』

テーマ 戦後 80 年—水野広徳から何を学ぶのか—

ゲスト 広島大学人間社会科学研究科教授 小池聖一 氏



小池聖一 氏

#### 【プロフィール】

1960 年大阪府生まれ。中央大学大学院で史学を修め、1990 年に外務省入省。外交史料館で日本外交文書の編纂を担当。1995 年から広島大学で教鞭を執り、現在は人間社会科学研究科教授。専門は日本近現代史、外交・軍事史、公文書管理。著書に『原水爆禁止運動と広島』(2025 年)、『森戸辰男』『アーカイブズと歴史学』などがあり、海軍軍縮や水野広徳の反戦思想の研究も手がけている。



番組プレゼンター 佐伯りさ

主催・発起人 蓮福寺 住職 山岡 宏  
NPO 法人アイムえひめ 理事長 菅 紀子  
南海放送株式会社 社長 大西 康司  
共催 コンソーシアム明治松山